

株式会社ゼクスコミュニティが運営する千葉県内の
ボンセジュールシリーズ

Bon Séjour

ゼクスコミュニティでは
シニアハウジング事業を中心に
全国 27 拠点を運営しています。



●●介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●●



土地・建物権利形態/賃借
(契約期間 2006 年から 30 年間)
ボンセジュール千葉
0120-658-227



土地・建物権利形態/賃借
(契約期間 2006 年から 30 年間)
ボンセジュール花見川
0120-658-375

●●ショートステイ・デイサービス・グループホームを運営する●●

ボンセジュールフェリエ



宮野木

0120-658-016



南行徳

0120-658-017



八千代台

0120-658-052

<運営・管理>東証1部 上場企業 ゼクス(証券コード8913)の100%出資子会社

ZECS 株式会社 ゼクスコミュニティ

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7 大和生命ビル21F TEL.03-5510-1131 FAX.03-5510-3026

葉の花

第9号

発行日:平成19年11月24日
発行所:千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
発行責任者:会長 佐野 袈裟美

INDEX

- 訪問看護の質・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 佐野 袈裟美
- ステーションMAP・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3~4
訪問看護ステーションゆうこう
- Yさんへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
花見川訪問看護ステーション
- 広報の名前が決まりました！！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- ステーション紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6~8
訪問看護ステーションきらきら/おたかの森訪問看護ステーション/
恵天堂訪問看護ステーション/松尾訪問看護ステーション/
セントケア訪問看護ステーション市原/訪問看護ステーションそよかぜ
- ケアマネージャーの声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9~10
みやのぎ訪問看護ステーション
- 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10



訪問看護の質

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
会長 佐野 袈裟美

今年度より、介護保険事業者の指定更新が実施されています。初回は今年度と来年度にまたがって全ての事業所が更新を受けることになります。介護予防訪問看護については別に実施される事になります。更新制度、情報の公表により、運営基準に整合性のある事業者であるチェックをすることが出来ます。多くの訪問看護ステーション管理者、従業員は病院経験を経て訪問看護に携わっていると思いますが、多分病院教育では経営や看護の地域経済効果、貢献効果などの教育はされていないのではないのでしょうか。師長クラスを経験された方でないと思っております。

介護保険は走りながら考え、実践しています。毎年変化する法律と解釈通知が沢山あります。更新制度、情報の公表は手数が大変でも、利用者への公表と共に、雇用される側の立場を一定の基準（法）で守る役割も持っていると考えられます。いままで法人に任せていた事が管理者、従業者全員に周知され、不透明感がなくなることも目的にされています。未だに、情報の公表や更新制度の書類を法人事務局に任せ切で作っているところはありませんか。法人の状態や自分が置かれている立場を明確に出来ないばかりか、組織の目的にあった運営をする為にも是非、自らかわり作成の要となっただきたいと思っております。

また、質の確保のために看護師自体の考える看護、科学する看護の独自性を確立するならば、各ステーションは「情報の収集から看護の視点、アセスメントによる課題抽出、看護計画の立案」特に「アセスメント」が十分に実施されているかは非常に看護の質を問います。既に、実践されているステーションも多くありますが、各ステーションでのアセスメントシートやアセスメント方法が確立されていますか。

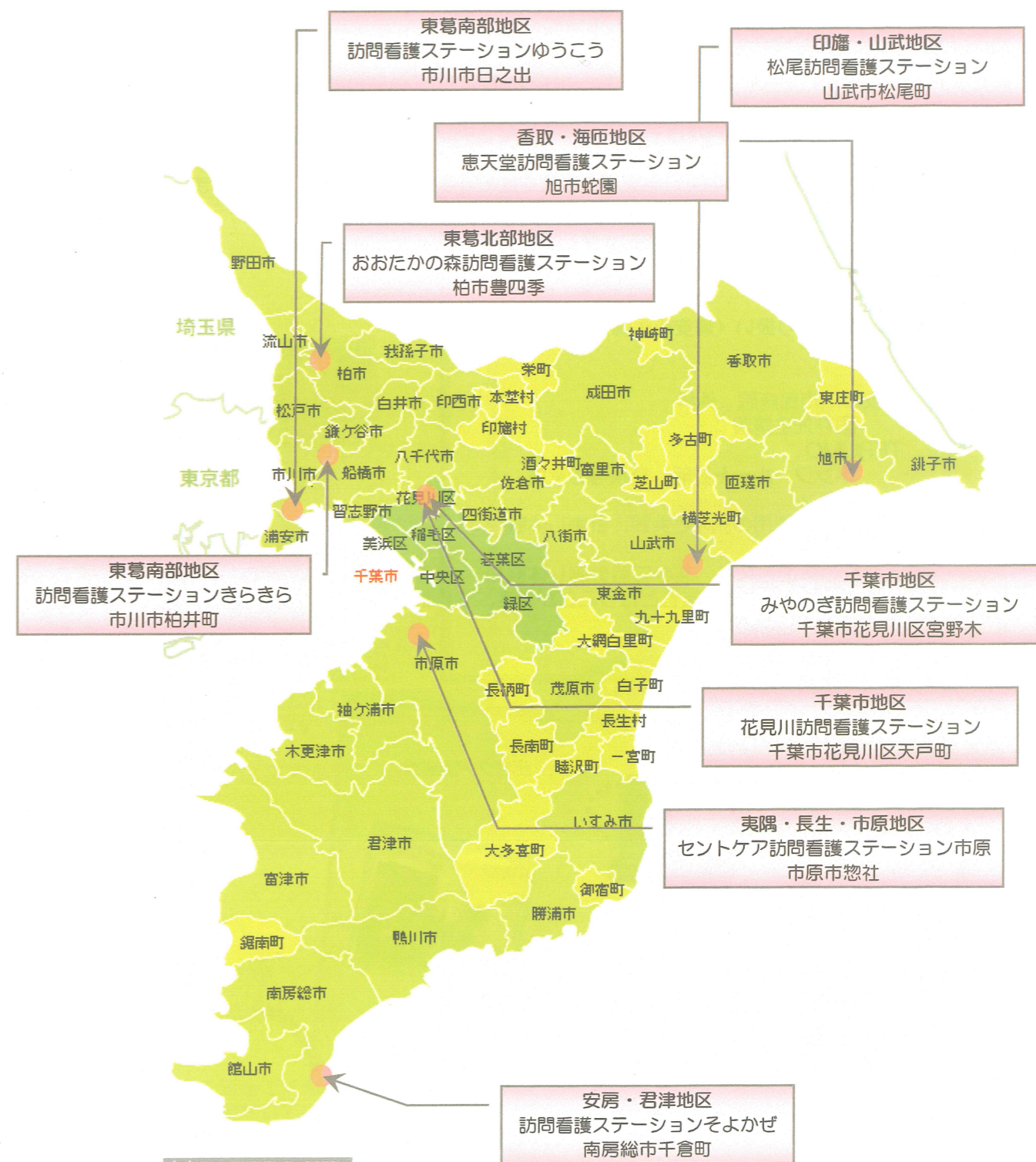
それぞれの看護師が、情報収集から看護計画を一気に立案し、アセスメントを飛ばしていないでしょうか。利用者自身の計画（目的）になっているでしょうか。看護師の行動（実施）計画になっていないでしょうか。利用者の視点に立って傾聴し、沈黙を会話の糸口にしながら信頼関係を築いて、その方自身の生きた看護の提供をしていきましょう。

訪問看護は今後求められる事が多くなります。求められる事はありがたいことです。それぞれの看護師が生き生きと暮らす事ができる時代です。日々の楽しみを持って仕事ができることが最大の良い看護を提供できる条件です。



■ステーションMAP■

*今回の広報に記事を投稿して下さったステーションのMAPです。



研修報告

訪問看護ステーションゆうこう
泉山 明美

(私たちの地域はこんなに素敵なんです！ 自慢)

癌ターミナルの患者さんがどんどん退院してきます。医療依存度も高くなり、家族指導も不十分な状態での在宅療養開始。訪問し支援したくとも職員にも限界があり、対応しきれないのが実情です。私たちも医療処置に対応していくためにも腕を磨く必要があります。ポート挿入の利用者さんが増えており、最新の知識や技術を磨きたいという要望がありました。実践を伴う研修が少なく、常日頃お世話になっている緩和ケアでは最高の女医さんである小林先生に相談したところ、「いいわよ〜！」と快く引き受けてくれました。

小林先生は、利用者さんへの声かけもとても素敵なんです。「お花いただいたんだけど、もらっていたげる？」とても美人なのに飾らないし、何気ない気遣いがたまらないんです。

今回、そんな小林先生の協力の下、浦安市医師会主催の研修会に参加することができました。

I : H19. 9

IVH ポートの取り扱い (浦安市医師会主催)

- i. 浦安市川市民病院 外科
国井先生講演
- ii. TERUMO
ポンプ・ルート説明、交換等の実践
- iii. メディコン
ポート使用の説明と実践、針刺し体験

30人余りの参加となり、熱心に皆針刺し体験していました。質疑応答も直接業者と行うことができ、有意義な研修となりました。

IVH ポート資料



在宅ケア講演会



* 神山先生・小林先生・杉山先生 *

II : H19. 10 在宅ケア講演会 (浦安市医師会主催)

- i. 在宅緩和ケア 順天堂大学浦安病院 麻酔科 教授 神山先生
- ii. 乳癌の治療 順天堂大学浦安病院 外科 准教授 杉山先生
- iii. 懇親会

講演内容に関しては、麻薬利用の方法、種類に関して、メンタル面での支援体制など。順天堂浦安病院では来年4月に向け、緩和ケアに関して医療連携センターを立ち上げ、受け入れ準備に追われているとの事です。具体的内容に関してはまだですが、地域の利用者にとって、また私たちにとっても支援体制が整えば、心強い味方になってくれるのではと思います。

懇親会では、ビールを抱えながら女性の胸について、“細胞数は同じだが、どうしても男性は大きい方になびいてしまう”等の話題に花が咲き、ブライトンホテルでの美味しい食事をいただきながらの楽しいひと時も。

講演会では広報に載せるにあたり、許可をいただいて写真を撮らせていただきました。

III : H19. 11

PTCD の理解 (小林クリニック主催)

クリニックにて、少人数ですが、臨海病院 外科の山本先生の講義、スライドを見ながらの勉強です。在宅ならではの注意点や疑問点など今さらという事も聞くことができ、良かったです。

私の学校の後輩が先生の奥さんと聞き、びっくりしてしまいました。

今後も呼吸器や PEG などの実践的な研修を取り入れていただいています。

浦安市医師会には大変感謝しております。

PTCD の理解



* 小林先生・山本先生 *

IV : 精神科疾患関係の研修 (国立精神・神経センター国府台病院主催)

職員向けの研修ですが、自立支援法を利用した精神障害の方にも訪問しているため知識不足を補うために参加しています。9月から2回/月コースで来年2月まで企画されており、様々な分野の講義となっています。上記の研修もですが、仕事が終わってからの参加となるため皆家庭と折り合いをつけながら頑張っています。恵まれた環境で訪問看護ができることを感謝しています。

千葉市地区

Yさんへ・・・

花見川訪問看護ステーション
唐木 明美

四季の移り変わりを肌で感じながら、この仕事を始めて13年がたちました。今年の夏は、とても暑くて厳しい夏でした。あなたが、遠いところへ行ってしまってから3年の月日が流れました。この暑い夏がくると、あなたのことを思い出さずにはいられません。手探りで始めたこの仕事で、初めて担当したのがあなたでした。認知症の周辺症状が強かったあなたは食思不振で入院し、寝たきり状態で意識も呼び名に開眼するレベル。結局、胃瘻を造設してご自宅へ帰られることになり、それと同時に訪問看護を開始することになりました。

10年間であなたから、呼吸管理・胃瘻管理・褥瘡処置などを学ばせていただきました。また、主介護者である娘さんとのコミュニケーションでは、ご自宅へ伺うということの基本を教えていただきました。「ここまで家でみたのだから、もうこれ以上は何もして欲しくない。」という娘さんの強い思いがあり、死に対する教育・看取りも経験させていただきました。

今でも、最後の日のことは忘れません。呼吸状態が悪化したあなたに、「もうだめなのね。」と傍らからひとときも離れずについていた娘さん。「ありがとう。ありがとう。」といいながらあなたの頭をなでていました。クリスチャンだったあなたの最後を、神父さんに見送ってもらうことは叶いませんでしたが、近い人に静かに見送ってもらうことができました。ほんとうに、安らいだお顔でした。

あなたへの訪問看護が私の原点です。つまずいたときには、そっと思い出してみることになっています。あなたは遠くにいてしまいましたが、私の心の奥深くあなたとの尊い10年が刻み込まれています。

もう、お伝えすることはできませんが、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



平成6年に病院からの訪問看護としてスタートし、平成9年にステーションを開設して以来、たくさんの利用者さんとの出会いと別れがありました。その中でも、とりわけ思い出の深い利用者さんへの感謝の気持ちを込めて綴ってみました。

昨今、訪問看護ステーションでは看護師のバーンアウトが問題になっています。看護の原点ともいえる訪問看護という仕事のやりがいや素晴らしさ。これをもっと広く皆様にお伝えできればと心から思っております。

広報の名前が決まりました！！

発行初回より、ずっと“広報”という名称を使ってきましたが、“広報”よりもっと良い名称はないものかと考えていました。前号にて募集したことは皆さんご存知のことと思います。関係者で審議した結果、『菜の花』に決定いたしました。『菜の花』は千葉県の花。県内で利用者さんの療養生活を支えるため頑張っている私たちに、ぴったりの名前だと思いませんか？

今回より新しい名称を使っています。そしてロゴは利用者さんのご主人の直筆（毛筆）！！これからも広報『菜の花』を、どうぞよろしお願いいたします。



千葉県訪問看護連絡協議会 広報担当

東葛南部地区

医療法人社団 恵隆会
訪問看護ステーションきらきら

我がステーションは市川市北部の柏井町・・・畑のひろがるのどかな場所にあります。ステーションの母体は市川市にある浮谷クリニックです。グループとしてクリニックのそばに、“さくら訪問看護ステーション”、市川市柏井町に“老人保健施設つばさくら”があります。

我がステーションスタッフは、看護師4名（うち1名非常勤）、理学療法士2名（非常勤）事務1名、併設の居宅介護支援事業所の支援専門員1名です。小さなステーションですが、スタッフ同士のチームワークは抜群！！

何よりスタッフ全員が訪問看護が大好き！！毎日楽しく仕事を行っています。



ステーション最大の特徴は理学療法士が2名いることです。理学療法士にリハビリの指導をしてもらい、個々の利用者様にあたりハビリを提供できるよう日々訓練しています！おかげで、スタッフも理学療法士の卵？！と言われるほどリハビリの手技が上達しました。

笑顔をやさずに、若いパワーで利用者様のお宅を飛び回っています。これからも、利用者の皆様がお家で安心して療養生活を送れるよう努力していきます！



東葛北部地区

おおたかの森訪問看護ステーション
井上 美香

私たち「おおたかの森訪問看護ステーション」は柏市豊四季にあります。2年前、松戸市から母体病院の移転に伴い、つくばエクスプレスおおたかの森駅の側に名称を変えオープンしたステーションです。駅周辺にはおおたかの森SCもあり、高層マンションが次々建設されてきており、とても賑やかになってきました。

当ステーションは、まだまだ利用者様が少ないながらも3人の常勤スタッフをいただき、毎日一生懸命サービスを提供させていただいています。病院が母体にあるのですが、病院から在宅になる方が少なく、多くの方は家族が「家では面倒がみられない…」ということで施設を希望されている…という話を病院からいただきます。



そんな中、在宅での生活に不安を抱えながらも、訪問看護を利用することを前提に在宅にもどられた方から、「こんなに自宅でサポートをしていただけるなんて思ってもいなかった！訪問看護の方がいてくれると思うだけで安心していられる！」という、うれしいお言葉をいただきました。この言葉を胸に、自分たちの役割をもっと、もっと利用者の方々から知っていただき、一人でも多くの方が自分の住みなれた場所で安心、安楽に過ごしていただけるようスタッフ一丸となってこれからも頑張りたいと思います。

香取・海匝地区

恵天堂訪問看護ステーション
浪川 久美子

私共恵天堂訪問看護ステーションは、緑豊かな恵まれた環境の中に位置しています。母体は恵天堂特別養護老人ホームで、併設サービスとして、居宅介護支援・訪問介護・通所介護・短期入所生活介護・認知症対応型共同生活介護があり、地域の方々への総合的な福祉サービスを提供しております。

当事業所では、ご本人・ご家族の希望・意思を尊重し、より安全に、より安心して在宅で暮らせるようなサポートができるよう、日々知識や技術などの向上に努め、これからの多種多様なニーズに答えられるよう努力していきたいと思っております。

スタッフは30代・40代・50代の3名で、24時間オンコール体制もっておりますが、やりきれないほどの夜間の対応は、現在まではありません。3人での24時間体制は負担もありますが、利用者様の安心に繋がっていると思っております。

まだまだ未熟な私達ですが、情熱はあるつもりです。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

印旛・山武地区

松尾訪問看護ステーション
土屋千夏子

私の育った村（現在は山武市ですが）には、九十九里浜、蓮沼海浜公園、蓮沼ウォーターガーデンがあります。そして、ほぼ田んぼに囲まれた中に平成17年3月「道の駅・オライはすぬま」がオープンしました。夏は一面緑の田んぼで、とっても綺麗なところです。

オライはすぬまには、地元生産者の採れたての野菜、海の幸、いなか寿司などのお惣菜、低価格で美味しい食事処『蓮味』があります。また、毎週末には楽しいイベントがあります。

私の一押しは、新鮮野菜と言いたい所ですが野菜嫌いなもので(^-^;) シフォンケーキがおすすめです。日によってない時がありますが、種類が豊富でふんわりしていてとっても美味しいです。(でも、予約すれば手に入りますよ。)

さて、“オライ”と言われて分かりますか？ こちらの方言で“我が家”という意味です。皆さんのところにも方言があると思いますが、どっぶりつかった村娘(3?才)の私は訪問先で、“あんとんねえ〜がい”“あじょした〜”など、気を付けてはいるのですがつい言ってしまいます。さて、皆さん分かりますか？

<答え>

あんとんねえ〜がい→大丈夫？・かわりない？
あじょした〜→何かあった？・どうかした？

と、言う意味です。他にも、こわい→疲れた、足がズ〜ズ〜する→何ともいえない痛み、とじくさる→ などなどです。方言を言ったらきりがないので、今回はここまでとして・・・。

こちらにお越しの際はぜひ「道の駅・オライはすぬま」、海浜公園や海などに寄って行って下さい。お待ちしております。

オライさあ〜来てね



夷隅・長生・市原地区

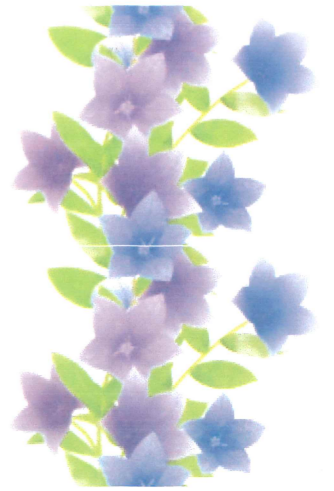
セントケア訪問看護ステーション市原

セントケア訪問看護ステーション市原は、平成18年8月にオープン致しました。

我社の訪問看護ステーションは千葉県（茨城一部含む）に8箇所あり、それぞれと連携をとりながら日々の業務を行っています。充実した看護を目指し、米国のミレニア社と提携を結び、定期的に収集するアセスメントデータの蓄積・分析により、根拠のある看護を行えるように取り組み質の向上に努めております。

また、当看護ステーションの特色としましては、同じ敷地内にあるデイサービス、ショートステイ施設と様々な連携をとり、個々のお客様に包括的なサービスが提供できるように努めております。

まだまだ、受け皿が少ないと言われている訪問看護サービスですが、私どもは、お客様が安心して自宅療養ができる環境を作り、御満足頂ける1対1の看護サービスの提供を目指し今後も最善を尽くしてまいります。少しでも地域に貢献できますようスタッフ一同励んでまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



君津・安房地区

訪問看護ステーションそよかせ
高橋とも子

房総半島の南端、南房総市千倉町に(有)ハイピース 訪問看護ステーション **そよかせ** があります。海と山と澄んだ空、温暖な気候、冬には畑がお花畑に変わる、自然がいっぱいの中で働いています。

当ステーションは、介護保険がスタートした2000年4月1日に、ヘルパーステーションとともに開設しました。ヘルパーステーションとの併設であるため、ヘルパーとの情報交換、意見交換ができるというメリットがあります。ヘルパーとのディスカッションを通して、お互いの職種の特徴を理解できるようになり、利用者様によりよいサービスが提供できるよう日々、検討し、取り組んでいます。

千倉町は高齢化率34%と高く、長年、地元に住んでいる方、老後を温暖な地でのんびりと暮らしたいと希望されこの地域に移り住んできた方達が暮らしています。同グループ内に在宅医療に力を入れている医師がいることにより、「命にやさしく、高齢者にやさしい社会をつくる」という取組みに基づき、グループと連携して地域に貢献できるよう、日々、活動しています。

訪問することによってお部屋の窓を開け、外の気持ちのよい空気を入れ、知らない間に入って知らない間に出て行き「あ〜気持ちいい!」と思ってもらえるような、**そよかせ**のような存在になりたいと考えています。

高齢となり、日常生活に支障をきたしている方や自宅療養されている方が、長年、住み慣れた地域、自宅で、最期までその人がその人らしい人生を送ることができるように、スタッフ一同初心を忘れず日々精進していきたいと思っております。



ケアマネジャーの声

今回、訪問看護ステーションの中で医療者としてではなく、介護福祉士と歯科衛生士の資格を持ち、ケアマネジャーとしてプラン作成に頑張っている方を紹介したいと思います。
他の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして働くこととは違う点があると思いますので、意見や感想をいただきました。緊急に原稿依頼をしましたので、そのまま載せたいと思います。
ご協力ありがとうございました。

千葉市地区

みやのぎ訪問看護ステーション 立石 悦子

これまで介護福祉士として施設で6年間、訪問介護事業所で1年間働き、現在、訪問看護ステーションでケアマネとして勤めて1年になります。

ケアマネとして在宅の利用者の方々と接している中で感じたことは、利用者の多くが健康や体調に不安をかかえており、その家族も同じく利用者の少しの変化にも不安に思い、心細い思いをしているということでした。訪問看護で定期的に看護をうけることは、本人や家族にとっては心強いことだろうと思います。それで、看護師でケアマネをしている方は、特に頼りにされるのではないかと思います。

これまで施設で働いていた時は、いつも看護師がいて、変化があればすぐに看護師に伝え指示を待つというように、他職種との連携をしながら行っていましたので、自分としては介護の分野での基本的な医療の知識ぐらいしかなかったと思います。また、ヘルパーとして在宅の利用者宅を訪問する時は、転倒などないように気をつけますが、なすべき仕事を、利用者が満足されるように、時間内でやり終える段取りを考えながら行っていましたので、あまり医療のことは考えていなかったように思います。

ケアマネとして働き始めて、今の状況や今後の予測される状況等を考慮しながら、何が必要かをみきわめる為に、介護、看護、リハビリ、栄養、家政、法律等、総合的知識と視野が必要であると思います。今の自分にはどれも不十分ですが、勤め先が訪問看護ステーションですので、ラッキーな点があります。看護師さんは皆忙しいのですが、同じ部屋にいますのでその会話が耳に入ってきます。薬のこと、医師との関係、病気の症状や対応などですが、大変勉強になります。直接尋ねることもできます。

ケアマネとして、一步一步経験を積んで、利用者やその家族から相談して良かったと思ってもらえるように、もう少し続けてみようと思っているところです。



みやのぎ訪問看護ステーション 加瀬 伸子

ケアマネジャーになって

まだ4ヶ月なので、業務の手順を理解している段階です。間違いはないか、慎重に仕事をしています。仕事を始めて思うのは、こんなにも「人に深くかかわる仕事」なのかということ。責任の重大さを強く感じます。

まだ実務能力も身についていないので、利用者・家族の支えになるには自信がなく、戸惑いもあるが、とにかく今は安心感を与えられるように心がけ、耳を傾ける事を大事にしていきたいと思っています。

訪問看護ステーション併設の居宅で働くメリットについて

- ・医療系ではないケアマネジャーにとって、看護職からの情報や看護の専門的視点からの助言を得られる。
- ・生活上の留意事項などを教えてもらい、ケアプラン作成にあたる事ができる。
- ・訪問した時に注意して観察するポイントがわかる→早期発見につながる。
- ・在宅生活には、介護と医療はセットだと思うので、医療の知識を得られる事は重要だと思う。

研修会に参加して他のケアマネジャーと話して感じること

みんないろいろ悩みながら仕事をしているんだなという事を感じます。現状として小規模の事業所が多く、相談できるケアマネがいなかったりして、不安を感じながら仕事をしていたり、実務経験が浅くても担当件数を多く持たされ、業務負担が大きく、やめていく仲間が多い。

これに関しては、訪問看護をしながらケアマネとして兼務している私も思うことです。もともと訪問看護師として、本人のみではなく全体を観察し、アセスメントし、サービスを導入していました。自分にとってケアマネの業務は、今までの訪問看護師としての仕事の中から、一部が業務分担されて仕事として確立されたものだと思っています。その仕事に対して、書類やら何やらとしばりが多くなり、大変な負担になっているのが実情です。

9月に訪問看護の更新手続きを済ませましたが、プランとの兼務で人員として0.5が引かれるため、ぎりぎりセーフといったところ。双方とも管理者というのも困難になり、急遽変更したりと大変でした。プランと訪問看護は、今後それぞれ専従の方向で検討して下さいと言われましたが、皆さんの意見はどうでしょうか？

訪問看護ステーションゆうこう 泉山 明美

編集後記

ついこの間まで暑い暑いと言っていたのに、もう街ではクリスマスの飾りが始まりました。少しずつ気温も下がってきて、冬ももうすぐそこ。1年は本当に早いですね。

今回も皆さんにご協力をいただき、無事に広報を完成することができました。ありがとうございました。

名前も決まり、気持ちも新たに編集に取り組みたいと思います。千葉県訪問看護ステーション連絡協議会広報『菜の花』は皆さんと共に歩んでいきます。

次号も沢山の投稿をお待ちしています！！

●広告募集のお知らせ●

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会では、広報に掲載する広告を募集しています。基本サイズはA6です。(実際は枠の分がありますので、もう少し小さくなります。)

詳細は広報担当者までお問い合わせください。(投稿用紙利用可。)

